

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長

報告者 氏名 新田 真一

下記の通り、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者 新田 真一

経理担当者 新田 真一

期 間	2026年 3月25日（水）～3月26日（木）
用 務 先	厚生労働省 保険局 （参議院議員会館 三上 えり）
用 務	診療報酬の改定について
概要及び所見	三次市は市立中央病院の建て替え計画を現在凍結している。それは物価高騰により、建設費が大きく膨らんだこと、病院経営の赤字により今後の経営見通しが立たないことに起因する。 診療報酬のアップ改定が、経営改善につながるのか、地方の公立総合病院の多くが、赤字経営の現状にあり、地域医療を守っていくための国の手立てはないのか。以上お課題提起し厚生労働省の説明を受けた。 診療報酬がすぐさま地方の総合病院の経営改善には結びつかないことは明らかであった。また当面の物価高騰に対応するために初診・再診・入院料の対応や、入院基本料の見直しや、急性期総合体制加算等、人口の少ない地域での医療提供機能確保や、地域の外来・在宅診療体制の確保などへ向けた国の施策が考えられていることがわかった。 三次市においてもこうした施策の進捗状況を注視しながら、人口減少の現状を踏まえながら、三次中央病の建て替えに臨まなくてはならないと思った。

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長

報告者 氏名 新田 真一

下記の通り、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者 新田 真一

経理担当者 新田 真一

期 間	2026年 3月26日（木）
用 務 先	文科省 （参議院 水岡 俊一）
用 務	学びの多様化学校・小規模特認校について
概要及び所見	三次市では、2027年度 学びの多様化学校・小規模特認校を開設する予定で現在その準備の現状を報告し文科省のレクチャーを受ける。 多様化学校については、現在全国で開校が進んでおり、教育課程の緩和や、独自の教科を設定し取り組まれている現状の報告があった。三次市においても多様化学校についての検討委員会が設置され、教育課程などの具体が検討されており、参考となる事例も多かった。 小規模特認校については、各自治体が独自に設置しており、文科省として全国の事例の把握は行っていないことであった。しかし、近年は減少の傾向にあるとのことだった。三次版の小規模特認校が「集団になじみにくい児童を対象とする」小集団教育については、文科省はそうした研究事例を知らないと回答した。三次版小規模特認校がどのような学校なのかははっきりしなかった。 小学校の多様化学校については、全国事例はまだ少なく、多くが小中一貫校としての事例であった。